



子育て世代に
強い味方！



影岡 俊範 議員

今後に活かしたい
お迎え付き
病児・病後児保育



子育て支援にお迎え付き病児・病後児保育サービスを

安心して子供を産み育てる環境整備として実施

問

お迎え付き病児・病後児保育事業は共働きの子育て世代には、仕事との両立にこの上ないサービスであると言える。

当町の取り組みは、

保険福祉部長

この事業は、体調不良の児童・幼児を実施施設が、保護者からの連絡により、看護師や保育士を派遣し、医師の診察を受けさせた後、保護者が迎えに来るまで施設で保育・看護するものである。国の交付金対象に加えられ、急に仕事を休めない、勤務先が遠いなどの

保護者にはたいへん助かるサービスである。現在の病児・病後児保育にお迎えサービスを採用することを、安心して子供を産み育てる環境整備の一つとして実施したいと考える。

安全面に配慮した運用と費用設定など、委託先と協議を進め、整次第実施したい。

水道事業を健全に存続させるためには企業経営感覚が必要

公営企業として現在の経営状況を踏まえ事業計画を策定

問

① 西古泉水源地は、

改修の最優先事業と考えるが、実施に向けてのスケジュールを問う。

② 民間を活用したPFI事業の検討は

町長

① 老朽化が進んでおり、予想される地震被害を最小限に抑え、安心安全でおいしい水を将来にわたって安定供給したい。そのため、施設の耐震性と高度なろ過施設を備えた整備に早急に取り組む。

※PFI事業とは、民間資金を利用して、民間に施設整備等を委ねる手法

既存計画の見直しや

事業概要計画を行い、料金の改定についても検討するなど、事業を進める準備に取りかかる。

整った時点で議会に説明する。

② PFIについては、水道事業になじむかどうか見極める必要がある。